

概要 | データ駆動型農業（施設園芸）の展開に向けた**連携協定**について

【現状】

農業者の高齢化や労働力不足が進む中、**持続可能な施設園芸を実現**するためには、**デジタル技術の導入が必要不可欠**。

【取組】

R4からハウス内環境データなどを蓄積する**データ共有基盤**の構築や、わかりやすく操作できる**アプリ**を開発し、デジタルデータの活用を開始。

【課題】

今後、様々なデジタルデータが効果的に連動した**データ駆動型農業を展開・強化**するためには、データの蓄積から提供、分析、指導まで一貫通貫した協力体制が必要。

データ駆動型農業の展開・強化



持続可能な農業の実現

～生産量の確保、生産コストの低減、販売価格の安定～